

第 19 期営業報告書

1 事業概要

(1) 当期の営業状況

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。ここに、当社の第 19 期営業概況につきまして、ご報告申し上げます。

わが国経済は、原油安による恩恵や様々な景気対策などの政策効果の発現により緩やかな上向き傾向にあると言われ、大阪東部地区の賃金白書によりますと、平成 27 年度の賃上げ実施割合は、前年に比べて 2%弱ではありますが上昇し、景気の回復が見られるようになりました。

他方、人手不足に伴う受注機会の損失や営業活動への支障を指摘する声が多く聞かれる状況ともなっています。また、それに加え、中国経済の減速や個人消費のもたつきもあって、中小企業の景況感は足踏み状態が続いており、当社においても、前期と同様の厳しい経営を余儀なくされたところです。

当期の営業面におきましては、経営基盤の安定を図るため、積極的な営業活動を実施するとともに、公的機関が主催する記念行事などの企画運營業務を請負など売上増に努めましたが、厳しい結果となりました。

また、番組編成面におきましては、番組内容に地域の新しい情報を反映させ、より魅力ある番組にするため、地域イベントなどへの取材回数を増し、番組内容の更なる充実とともに、地域との繋がり強化に努めてまいりました。

以上の結果、当期におきましては、番組・広告収入を中心に売上高は、前年比 185 万円減の 6,251 万円となりましたが、経費の節減などで当期純利益は、前年比 90 万円増の 206 万円を計上することができ、累積欠損金は 1,677 万円となりました。前期に続き単年度黒字を計上することができましたが、未だ累積赤字の解消に至らない財務状況でありますので、誠に申し訳ありませんが株主配当は、見送らせていただきます。

今後も、安定した経営基盤の確立を目指し、組織・体制の改善強化を図るとともに、「届けます元気と安心、繫げます地域の絆」を活動目標として、行政情報をはじめコミュニティ情報、地域経済産業情報、観光情報など地域に密着した様々な情報の提供を通して、地域住民の皆さんの利便性と安全性の向上、地域経済の活性化あるいは文化の振興に寄与すべく、番組作りに努めてまいりますので、株主の皆様におかれましては何卒ご賢察の上、今後とも一層のご指導とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。